

◆◆◆ 英語多読・多聴のすすめ ◆◆◆

皆さんの本棚に店ざらし状態の英語の本はありませんか？映画やテレビドラマで感動した作品や関心のある事柄について原書で読みたいと思って買ったものの諦めてしまった経験のある人は多いかと思います。なぜ読み終えられなかったのでしょうか。それは英語が難しすぎたか内容が面白くなかったかのどちらかです。つまりどんな本を選ぶかが読書成功の鍵なのです。

「多読・多聴」は絵本・童話からノンフィクション・長編小説まで、今のあなたの英語力で読むことで、読書を楽しみながら英語力を上げることを目指しています。多読3原則は「辞書を使わない、わからないところは飛ばす、つまらないと思ったらすぐやめる」です。自分の英語力レベルに合わせ、面白い本だけを読んで、理解は70%くらいでOK。こんなに美味しい英語学習法、これまでありましたっけ？知らないと損をしそうですね！

では、どこで「多読・多聴」図書に出会えるのでしょうか。それは図書館2階の「英語多読本」コーナーです。そこでは、950冊もの英語多読本が皆さんを待っています。嬉しいことに、ほとんどの本は聴いて楽しめるようにCDがついています。好きな本は基本的に何を読んでもOKですが、どのレベルの皆さんにも最初にお勧めしたいのが、Oxford Reading Tree シリーズの子供向け絵本です。5冊で1話のストーリー構成ですが、日常生活のふとした出来事を描いた秀作揃いで、ステージ1からステージ9まであります。その後は自分のレベルに合わせ、好きな本だけを読む贅沢を味わってください。1番人気はアニメでよく知られている Curious George シリーズ。ストーリーの内容を知っている人は、驚くほどすらすら読めるはずです。I Can Read Books シリーズは心がほっこりする人気のシリーズです。ミステリーファンには A to Z Mysteries、ノンフィクションが好きな人には Magic Tree House シリーズ、スティーブ・ジョブズや錦織圭などの著名人の伝記もお勧めです。また、世界の国々の文化や伝統行事、Rain Man など名作を映画化したもの、Harry Potter, Matilda など、大学生にも人気の児童文学、そしてチャールズ・ディケンズの Christmas Carol からシェイクスピアの Romeo and Juliet など

珠玉の名作まで、選ぶのに困るほど多様なレベルとジャンルの洋書が揃っています。長い小説も簡約版で読み易くなっていますので、数多くの作品に触れることができます。黒っぽい表紙の The Oxford Bookworms Library とオレンジ色の表紙の Penguin Readers、水色の表紙の Cambridge English Readers など、まさに宝の山です。ぜひ本の虫 (bookworms) になって琉大在学中に読破してください。

さて、易しい本を堪能したら、次は英語のレベルを上げてみましょう。多読図書の英語のレベルはレベル0からレベル6まであり、語数(冠詞等も含む)も500語から3万語程度まであります。琉大生の幅広い興味をカバーし、英語力に合わせた本が準備されていると考えていいでしょう。2、3ページ読んで、つまらないと思ったら、別の本に取り替えてください。知らない単語が多すぎてすらすらと読めない場合は躊躇せず易しい本に替えてください。自分のレベルより少し下のレベルの本を楽しんでたくさん読む方が英語力向上へ繋がります。

では、どれくらいの量を読めばいいのでしょうか。皆さんは他の授業も取りながら読むわけですから1個学期に10万語を目標にしてください。読書日を決めるもよし隙間時間を徹底利用するもよし。週2~3時間せつせと読むと読書スピードがあがり内容も楽しんで読めるようになるはずです。さらに、理解度をあげるために1冊読み終える毎に簡単な要約と感想を書くことをお勧めします。最終的には「目指せ100万語!」。絵本のような易しい本でも100万語読むとTOEFLに出題されるような説明文の理解度も上がるというリサーチ結果が報告されています。全ての多読図書には総語数が書かれていて、Oxford, Cambridge, Longman 出版の本は裏表紙に印刷されています。その他の図書は表紙の裏側か1ページ目に手書きで書かれています。読んだ本のタイトルと語数を記録し、明日への励みにしてください。100万語も夢ではありません!

以下は、元琉大教授・小那覇洋子氏の説明と調査結果です。

多読の目標は、まず自分の英語力レベルで、興味のある本を、日本語の本を読む速度で大量に読むこと、そして「英語を英語として理解する」ことです。そのためにも読む速度が重要になります。母語の速度で読むためには翻訳という中間プロセスを排除する必要があります。しかし15年以上、日本語で頭の

中の情報を処理してきているので、直ぐにはできません。「多読」を通してその訓練をしようという訳です。

実際に「多読授業」に参加した2年生と4年生の以下のアンケートを紹介します。(調査は2012年)

	2年生 (33名)	4年生 (26名)
英語を英語として理解するようになった	26名 (78.8%)	18名 (69.2%)
読む速度が速くなった	25名 (75.8%)	22名 (84.6%)

70%前後の学生が英語を英語で理解するようになり、読む速度が速くなったと回答しています。多読をしている学生全員を調査した訳ではないので、上記の数字が全てを表す訳ではありませんが、「多読」の目標はある程度達成できていると思います。多読でついた英語力は、リスニングはもちろんのこと、ライティングやスピーキングスキルの向上へも繋がっていきます。

琉大生の英語力は多様です。1,000語くらいから始めたい人もいれば、1万語の本を楽々と読める人もいるでしょう。でも、どんなに英語力が高くて、まず Oxford Reading Tree シリーズから読み始めることをお勧めします。次にアニメですでに内容を知っている Curious George のような子供向けの本に進むといいでしょう。これまでの英語学習の自分史を捨て去り、童心に戻って絵を楽しみ物語を味わい目からうろこの英語表現を発見しながら、多読を楽しみましょう。読書スピードにもよりますが、1日30分程度の多読で1年間に100万語読める計算になります。100万語読むと英語の長編小説も抵抗なく手に取って読めるようになります。でも、面白くないと思ったら、迷わずやめて他の本にしてくださいね。せっかく始めた楽しい読書が苦行にならないように、面白いと思った本だけを読む基本を思い出してください。

最後になりましたが、「多聴」について紹介します。多くの多読用図書にはCDが付いています。本を読み終えたら、プロの声優が吹き込んだCDをぜひ聞いてください。心に響くその声と物語を堪能しながら、リスニング力をつけましょう。

易しい英語の本のリスニングがリスニング力アップに如何に効果的かを示す、あるビジネスパーソンからお聞きした経験談を紹介します。香港勤務を命

じられたその方は、3か月でTOEFL iBTスコアを40点台から80点台へ上げることに成功したそうです。リスニングの勉強法を伺ったところ、易しい英語の本を数冊、暗唱できるほど何十回も聴いたと話されていました。リスニング力アップの鍵は多聴にあり！あなたも100万語目指して頑張ってみませんか？

法文学部 豊島麗子

